

三重・岡山ブロック



こにゅうどうくん

三重県四日市市長
森 智広
Tomohiro MORI



四日市市の紹介



鈴鹿山脈と茶畑



吉崎海岸とハマヒルガオ

西へ30km



- 人口 : 312,190人
- 世帯数 : 138,527 世帯
(平成30年12月末現在)
- 面積 : 206.44km²



コンビニート夜景



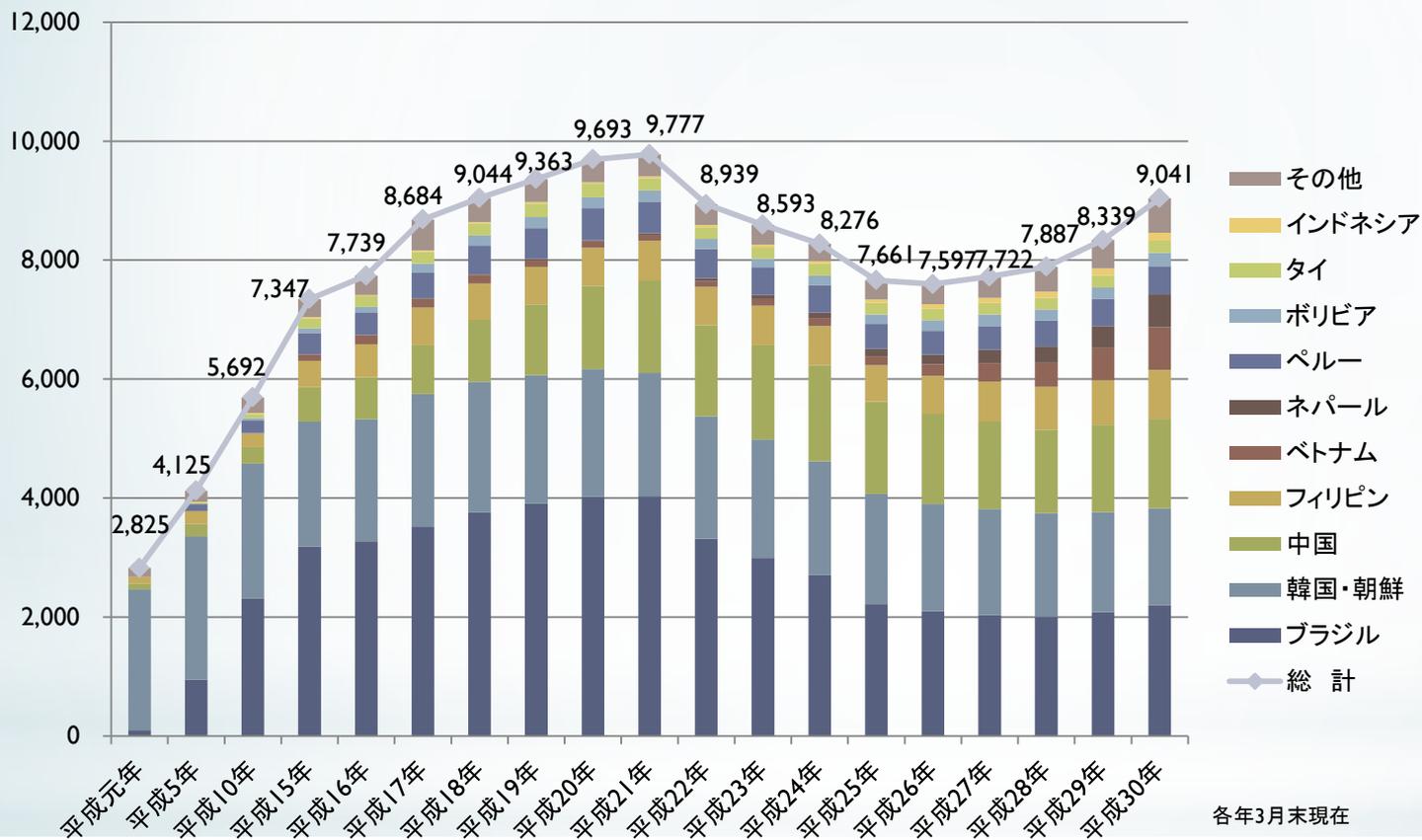
東海エリアの西の拠点・四日市市

31万人元気都市・四日市市

2027年リニア中央新幹線 東京一名古屋間開通



本市における外国人市民の現状



外国人市民数(人)	
ブラジル	2,258
中国	1,537
韓国	1,524
ベトナム	985
フィリピン	815
ネパール	635
ペルー	481
タイ	246
ポリビア	231
インドネシア	147
その他	743
計	9,602

(平成30年12月末現在)



本市の多文化共生モデル地区

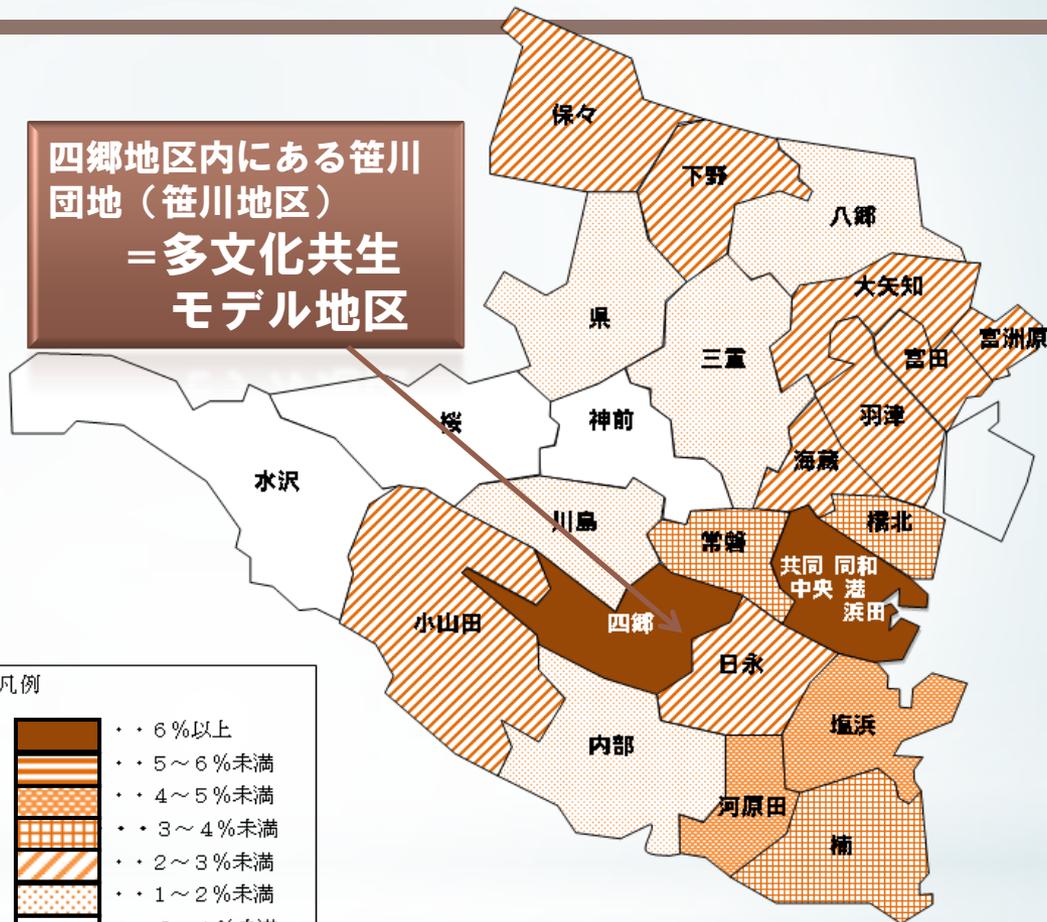
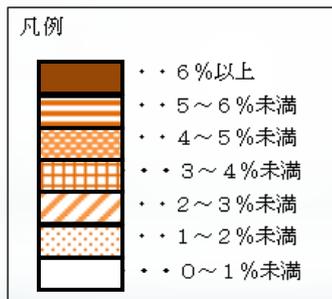


笹川地区に暮らす外国人市民

1,662人

地区人口の
17%

四郷地区内にある笹川
団地（笹川地区）
= 多文化共生
モデル地区



『外国人市民も日本社会に適応し、地域の構成員として参画するまちづくり』



本市の多文化共生に係る取り組み



地域の防災訓練



笹川子ども教室



戸別訪問による参加促進



地域づくりサポーター養成講座
(防犯パトロール参加)



出入国管理及び難民認定法 改正(平成30年12月)

○一定の専門性・技能を有し、即戦力となる外国人材を幅広く受け入れ



新たな在留資格

「特定技能1号」

「特定技能2号」

条件

ある程度日常会話ができ、生活に支障がない程度の
日本語能力



『外国人材の受け入れ・共生のための総合的対応策』(平成30年12月25日閣議決定)

「外国人を日本社会の一員として受け入れ、外国人が社会から排除されること等がないようにするためには、(中略)日本語を習得できるようにすることが極めて重要」

➤『日本語教育の標準的なカリキュラム』等の活用促進

➤地方公共団体の総合的な取り組みの支援

➤先進的な取り組みを行うNPO等への支援

➤日本語教室空白地域の地方公共団体へのアドバイザー派遣



…126の施策

国の役割 = 地方公共団体やNPOなどの後方支援？



地域ボランティアによる日本語教室における課題

○現状でも教室が満杯

○ボランティアの動機・経験・技量などがまちまち

○仕事のために日本語教室に通えない外国人市民も多い

⇒質・量とも受け入れには限界がある



《 提 言 》

- ① 外国人市民の就労先である企業や登録支援機関が、外国人従業員に対する日本語教育および日本での生活指導等を、責任を持って実施するよう、国が法的に義務付けること。
- ② 国や県が、外国人従業員に日本語教育等を行う企業等に対して、実効性のある支援を行うこと。



日本語教育の専門家の派遣、補助金の交付など

